

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 3 第 2 0 号	受理年月日	令和 3 年 8 月 2 6 日
件 名	平成 2 5 年決定民営化学童の平均 1 3 0 0 万円削減効果の調査に関する陳情		
【陳情の趣旨】 「平成 2 5 年 1 2 月に決定した区立児童館・学童保育クラブの委託化計画」により民営化された学童について、目黒区は区民や議会に対して「1 施設年間平均約 1 3 0 0 万円の削減」と説明していますが、「目黒区施設データ集」を確認したところ、実際は、そのような費用削減効果は無く、特に株式会社へ委託した単独学童では費用増となっています。 費用の内訳を見ると、民営化した 4 学童のうち宮前小内学童・中根小内学童・烏森学童の 3 学童で、民営化前年度に約 7 0 0 万円の引継ぎ費用が発生しています。その引継ぎ費用を含んで増加した民営化前年度と民営化初年度の費用を比較しているため、あたかも民営化後に費用削減されているように見えているのが実態です。 目黒区が今年策定した「区立児童館及び学童保育クラブ民営化計画案（令和 3 年度から 8 年度まで）」（以下、今回の民営化計画案）では、「1 施設年間平均約 1 3 0 0 万円の削減」が前提となっており、上記の実態との乖離があります。このような誤情報を元に学童事業者が決まっていき、その事業者が随意契約により、自動的に小学校のランランひろばの事業者となることに大きな懸念を覚えています。 今回の民営化計画案に、増設は含まれないため、待機児童の解消に繋がってなく緊急性はありません。さらに、新型コロナの影響で対象の小学校保護者および住民と十分な意見交換が出来ておらず、区議会から改善するよう指摘を受けています。 まずは、過去に民営化した学童の費用精査を行い、区民や議会に説明した「1 施設年間平均約 1 3 0 0 万円の削減」が正しい事の説明を施設毎の数値なども含めて、しっかりとした根拠を示しながら説明し、その結果の公表をお願いします。 下記が陳情事項となります。 【陳情事項】 民営化学童の施設別財政推移を数年分検証し、単独学童を株式会社に委託した場合などでも「1 施設年間平均約 1 3 0 0 万円の削減」と言えるかを調査し、調査結果を、その根拠も含めて学童保護者・一般区民・区議会に公表してください。			